

多彩な音色に彩られたコンサート「日本の響」

(即日解禁可)

お問合せ先：フリーランスPR 田中 Davies 智子

email: tomoko.tanaka.davies@gmail.com

Tel:090-1804-5867

邦楽と和楽器の魅力を伝えるコンサート「日本の響」が、2021年12月17日（金）東京・牛込篠区民ホールで開催された。出演は多ジャンルのアーティストとのコラボレーションをしている和太鼓グループ彩-sai-、そして尺八奏者 中村明一が率いる日本音楽とプログレッシブ・ロックを融合させたバンド FOREST。

当日はコロナ禍による制限はあるものの、多くの観客が会場に足を運んだ。彼らが生み出した和楽器の枠に留まらない、多彩な音色に彩られたコンサートの様子を写真にてご紹介する。なお本コンサートは2021年12月27日よりアーカイブ動画配信を実施する。



FOREST



和太鼓グループ彩-sai-

■ 「日本の響」概要

「日本の響」は、和楽器の名手が一堂に会する日本で唯一のイベント。草加市文化会館で2020年までの5年間、毎年開催されていた。12月17日に開催された本コンサートは、その再出発公演となる。

新しい太鼓の世界を開く、若き「和太鼓グループ彩-sai-」と、国際的に活躍する尺八奏者 中村明一が率いる日本音楽とプログレッシブ・ロックを融合させた「FOREST」が出演。司会は邦楽ジャーナルの編集長 田中隆文が務めた。

なお同公演は2021年12月27日からアーカイブ動画を配信する。動画配信チケットは2021年12月26日まで、Peatixにて購入可能。

チケット購入リンク

<https://nihon-no-hibiki2021.peatix.com/>

動画視聴 URL は別途配信開始日前までにお送りいたします。

配信期間中 動画は何度でもご視聴可能です。

■ 「日本の響」開催内容

- ・開催日時：2021年12月17日 18時30分開場 / 19時開演
 - ・会場：牛込箪笥区民ホール
 - ・出演：FOREST / 和太鼓グループ彩-sai-
 - ・コンサート構成
- ステージ1 (45分) : FOREST / 休憩 (15分) / ステージ2 (45分) : 和太鼓グループ彩-sai-

■ 出演者プロフィール

和太鼓グループ彩-sai-

2005年、東京大学にて結成された和太鼓集団。「楽しいが響きわたる」をモットーに国内外各地にて活躍中。ラグビーワールドカップ 2019 日本大会では、選手入場の演奏を務める他、外務省主催の海外ツアーはじめ、25ヶ国以上で公演を行うなど、今話題沸騰中の和太鼓集団。

メンバー：葛西啓之、齋英俊、塩見岳大、渡辺隆寛、酒井智彬、鈴木海

Website <https://wadaiko-sai.com/>

FOREST

1991年 尺八奏者 中村明一により結成。日本音楽を基にプログレッシブ・ロックの要素を取り入れ、リズム、コード、モード、サウンド、倍音の再構築を目指している。スイスのモントルー・ジャズ・フェスティバル、NYのブルー・ノート、ファイブ・スポットなどに出演するなど世界的に活躍している。

Website <https://akikazu.jp/forest/>

■FOREST ステージ (Photo by Kaoriko "ossie" Hanawa)

最初にステージに登場したのは、 尺八奏者 中村明一が率いる日本音楽とプログレッシブ・ロックを融合させたバンド FOREST (フォレスト)。

メンバーは、モルドバ共和国生まれ、13ヶ国語をカバーするボーカリスト ヴィオリカ・ロゾブ/Viorica Lozov、即興や現代音楽等ジャンルフリーで表現する箏奏者 山本亜美 (二十五絃箏)、東京フィルハーモニー クイーン、ドリーム・シアターとも共演したギタリスト ティム・ドナヒュー/Tim Donahue、プロデューサーとして数々のサウンドトラック、CM 等の作曲を手掛け、近年は主に中国で活躍するキーボーディスト 吉田潔 (Syn)、ジャズやクラシックを学び、米国内外の多様なジャンルバンドにも参加しているベーシスト デレク・ショート/DEREK SHORT と、正に多様だ。

そして今回は、手数王として知られ、FOREST のメンバーとしても活動。今年9月に多くの人に惜しまれながら亡くなったドラマー 菅沼孝三が、中村明一に託した若干17歳のドラマー 片山晴翔 (かたやまはると) も出演。国境も年代も超えたバンド編成となった。



今回の公演で FOREST は、King Crimson の名曲 「21st Century Schizoid Man (21世紀のスキツオイド・マン)」をカバー。リズムが複雑で、世界的にも難曲と言われているこの楽曲を、若干17歳のドラマー片山晴翔を含む FOREST のメンバーは、高いテクニックを駆使し息のあった完璧な演奏で、会場を圧倒した。さらに FOREST ステージ最後の曲 「Luna」 では、和太鼓グループ彩・sai・から葛西啓之が参加。太古の響を思わせる深い太鼓の音色と、古代の巫女の様なヴィオリカ・ロゾブの歌声、箏、尺八、エレキギター、ベース、ドラム、キーボードが奏でる多様な音色とリズムが絡み合い、壮大な世界が繰り広げられた。



FOREST セットリスト

- 1 曲目：薩慈（中村明一 独奏）
- 2 曲目：Magnetic Fantasy
- 3 曲目：不思議の森の物語
- 4 曲目：Close your eyes
- 5 曲目：21st Century Schizoid Man（King Crimson カバー）
- 6 曲目：Luna（和太鼓グループ彩-sai- より葛西啓之ゲスト参加）

■和太鼓グループ彩-sai- ステージ（Photo by Kaoriko “ossie” Hanawa）

休憩を挟み、拍子木から賑やかに始まった和太鼓グループ彩-sai-のステージ。事前に発表されていたメンバー塩見岳大は、持病の腰痛の為 大事をとって出演を見送り、当日は葛西啓之、齋英俊、渡辺隆寛、酒井智彬、鈴木海、尾関龍河と言うメンバーでの演奏となった。笛、鳴り物、掛け声と様々な音色の太鼓の響きが混ざり合い、明るく、はじけるような瑞々しさに溢れていた。



冒頭での挨拶以降 MC を挟むことなく、エネルギー溢れるパフォーマンスを魅せた和太鼓グループ彩-sai-。最後の楽曲「ZIRAIYA」を演奏する前に、改めて葛西啓之が、今日この場で演奏する喜びを語った。



セットリスト

- 1 曲目：晴れ囃子
- 2 曲目：祭宴
- 3 曲目：BEAT 3
- 4 曲目：隠れ里
- 5 曲目：大太鼓
- 6 曲目：小次郎
- 7 曲目：ZIRAIYA

彼らが生み出した和楽器の枠に留まらない、多彩な音色に彩られたコンサートの様子は、2021年12月27日よりアーカイブ動画配信にてご覧頂ける。動画配信チケットは2021年12月26日まで、Peatixにて購入可能。

チケット購入リンク

<https://nihon-no-hibiki2021.peatix.com/>

動画視聴 URL は別途配信開始日前までにお送りいたします。

配信期間中 動画は何度でもご視聴可能です。

--- (メディア向け情報・公開不可) -----

※本プレスリリースに使用した写真、及び他写真は以下リンクよりダウンロード可能です。

※写真を使用される際はクレジットとして Photo by Kaoriko “ossie” Hanawa を入れて下さい

https://www.dropbox.com/sh/cc8b27ics4usalp/AADPink0ddHLIwivvf3O6D_ca?dl=0